

まちのうごき  
 (7月1日現在) (6月中)  
 世帯数 16,850世帯 生れた人 55人  
 人口 52,872人 亡くなった人 18人  
 男 25,971人 転入した人 229人  
 女 26,901人 転出した人 192人

# 広報 向日市

## No.383

昭和61年8月1日

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)  
 ◎編集 秘書広報課 ◎電話 075(931)1111

8月1日は  
 「水の日」

# みなおそう“水”

—水は限りある貴重な資源です—



生命の源……水

水は、生命の源です。水は、私たち人間はもとより地球上のあらゆる生物にとつて欠かすことができません。また、私たちの暮らしや農業、工業などの産業活動を支える重要な資源です。このほか、水力発電や観光など、私たちは多くのところで水との深いかわりをもっています。しかし、この大切な水も枯渇して豊富ではなくなり、いまや限りある貴重な資源となつてしまっています。いまいまだ水をみなおし、水についての理解を深め、この限りある水を大切に使うよう心がけようではありませんか。

地球上の水の約97%は海水であり、淡水(真水)は約3%。しかも、この淡水の約70%は、南極、グリーンランド等の氷です。地下水を含め、河川や湖沼など私たちのまわりには存在する淡水は全体のわずか約0.8%にすぎません。

この地球上の水は、海や陸から蒸発して雲となり、雨や雪となつて再び地上に降り、川となり一部は地下水となつてやがてまた海に戻つていきます。たえず地球上をめぐつていく水。太古の昔から変わることなく繰り返されるこの大きな循環のなかで、私たちは水を利用しているのです。

**水を つくり 水を送る**  
 私たちの生活は、水なしには成り立ちません。

## 水を大切に使うくふう



コップ3杯程度ですむ歯みがきも、流しっぱなしでは1分間約6ℓの水のムダ。



洗面、炊事には、水の出を調節して…。節水コマもあります。



洗濯でも、工夫をすれば1回100ℓの水ですむはず。流しっぱなしスタイルだと240ℓになります。



浴槽は小さなものでも200ℓ、せめて残り湯の半分位は、洗濯・掃除・まき水に使えよう。



バケツ洗いなら5杯ですむ洗車も、流しっぱなしのホース洗いでは、30杯以上の水が必要です。



水洗トイレなど、節水型機器も開発されています。

## 市長と 語ろう



◇とき 8月6日(水) 午後6時～8時30分  
 ◇ところ 阪急東向日駅前

**家庭使用量 1か月27トン**  
 昨年度、向日市で使われた

**明日の水利用のために**  
 私たちの毎日の生活で使う水の中には、ちよつと気をつけられなくてもよい水もあります。

つくられる水道の水。いまこそ、私たちは、毎日の暮らしのなかでムダのない水の使い方を工夫していく必要があります。

お米や野菜づくりは言うまでもなく、あらゆる産業活動を支えている水、飲むための水、何かを洗うための水、私たちの生活は水とともにあります。

しかし、私たちがふだん何気なく使っている水は、自然の中で循環している水のほんの一部を加工したものだけに過ぎません。蛇口をひねれば出てくる水道の水も、地下水をくみ上げてみんさんのご家庭にお送りする、限りある貴重な「資源」です。

た水道の水は、約734万7千トン。また、家庭では1か月平均27トンの水が使用されました。家庭で使用されている水用途別にみると、洗たく、炊事、風呂の順となっています。これらに使用された水は確かに私たちの日常生活に必要なものばかりです。しかし、ここでよく考えてみてください。

例えは、バケツ洗いなら5杯ですむ洗車も、流しっぱなしのホース洗いでは、30杯以上の水がいります。(右図参照)

といっても、水枯れになったことのない私たちにピンとこないことです。しかし、水道の水には限りがあることを十分に理解しなければなりません。そして、ともすれば浪費していたこれまでの水使用をあらため、合理的な水の使用に努めて節水型社会をつくらなければならないのです。

## 「花火」による火災を防ごう

- ★ 花火をする時は……
    - 消火用の水バケツを……
    - 必ず大人がついて……
    - そばに燃えやすいものがない場所で……
    - 危険な花火であそばない……
  - ★ マッチ・ライターは、子供の手の届かない場所に……
- 向日市消防本部・消防団

